第４回印西市部活動地域移行推進協議会　議事録

日時：令和７年３月４日（火）
１５：３０～１７：２０
場所：市役所４階４１会議室

《出席委員》　敬称略

青木　和浩　　磯　　昌稔　　吉野　高明　　宇佐美美奈　　渡辺　敏雄
田口　光浩　　川嶋　将行　　三門　宜典　　飯島　正義

《出席事務局職員》

印西市教育委員会	教 育 長	渡邉　義規
印西市教育委員会指導課	課　　長	石川　真樹子
印西市教育委員会指導課	副 参 事	深澤　淳一
印西市教育委員会指導課	指導主事	山﨑　智貴

《傍聴者》

１名

《次第》

１　開会

２　報告事項

（１）印西市部活動地域移行運営業務委託の業者選定について
（２）千葉県小中学校体育連盟印旛支部の対応について（一部非公開）

３　協議事項

（１）印西市の部活動地域移行の運営について
（２）次年度のスケジュールについて

５　その他

６　閉会

【議事要旨】

１　開会

（司会）

こんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日、荻原委員におかれましては、欠席する旨の連絡をいただいております。本日の協議会では先日のプロポーザルで選定した株式会社アーシャルデザインも参加していただきます。

定刻となりましたので、令和６年度第４回印西市部活動地域移行推進協議会を開催いたします。 議事に入る前に申し上げます。本協議会は、印西市市民参加条例第１１条４項の規定に基づき、会議公開となる傍聴席の設置と会議録の作成のため、録音機材を設置して録音させていただきますことをご了承ください。現在、傍聴希望者が１名おりますので入室していただきます。

２　報告事項

（司会）

次第２、報告事項（１）部活動地域移行運営業務委託のプロポーザルについて、事務局からご説明いたします。

（事務局）

資料１頁をご覧ください。そのスケジュールで運営業務委託のプロポーザルを実施いたしました。厳正なる審査によって、本日も参加していただいております株式会社アーシャルデザインに委託することになりました。後ほど、アーシャルデザインから運営についての説明をお願いしております。

（司会）

報告事項（１）につきまして、何かご質問があればお願いいたします。

それではご質問・ご意見等ございませんので、報告事項（２）千葉県小中学校体育連盟印旛支部の対応について、事務局からご説明いたします。

（事務局）

資料２～３頁をご覧ください。令和６年度の小中学校体育連盟主催新人戦の各専門部の対応について記載しました。印西市のモデル事業の種目である野球とバレーボールを一番上に記載しております。

バレーボールについては、今年度の新人戦から地域クラブの参加の実績があることから、大会参加の点では問題なく市の地域クラブを設置できると思います。

問題は、野球です。野球専門部では、地域クラブでの大会参加要件が厳しく、行政主体で設置した地域クラブであっても印旛支部の小中学校体育連盟主催の大会へ参加は難しそうです。

さらに、印西市の部活動の実態を把握するため、野球専門部西印旛専門委員長とバレーボール専門部第３ブロック長と情報交換いたしました。現場の先生方が感じていることについて、直接話を聞くことができました。今後、市教委・アーシャルデザインの事務局と学校の管理職や顧問の先生と調整していかなければならないことがたくさんあると感じました。

（司会）

報告事項（２）につきまして、何かご質問、ご意見があればお願いいたします。

（委員）

この県の方針として、県教委のＦＡＱには無条件で地域クラブが参加可能となっているのに、小中学校体育連盟の専門部によっては大会に出場できないことがあるということが問題ではありませんか。来年度はまだ無条件に出場できるのかわからないということですか。

（事務局）

令和７年度から参加条件が緩和する種目もあるようです。

部活動地域移行の担当者としては、国や県の指針が行政主導の地域クラブについては無条件参加と通知を出しているのに、実際、大会主催者である小中学校体育連盟では各専門部で

対応が異なってしまうと、地域クラブの設置が進まない要因になっています。
（委員）
　現状がわかりました。
（司会）
　その他、ご質問ございますか。次第２、報告事項はここまでとさせていただきます。

３　協議事項

（司会）
　次第３、協議事項に入らせていただきます。当協議会設置要綱第７条１項の規定により、議長は会長が務めることになっております。ここからの協議事項については会長に進行していただきます。会長よろしくお願いします。
（会長）
　ここからは、私の方で議事を進行してまいります。まず、今回の会議録署名を宇佐美委員と三門委員にお願いしたいと思います。
＜委員了承＞
　次第３、協議事項（１）部活動地域移行の運営について、事務局お願いします。
（事務局）
　先ほど報告事項で挙げましたが、本日、委託することが決まりました株式会社アーシャルデザインにお越しいただいております。具体的な運営の説明をいただき、その後、委員の方から質問の時間をとりたいと考えております。
（会長）
　では、事業者さんお願いします。
＜アーシャルデザインの事業説明＞
（会長）
　ありがとうございました。プロポーザルに参加された行政の方は説明を聞いておりますので、それ以外の方は、いきなり話を聞いてもよくわからないところもあると思いますので時間をとります。
（事業者）
　最初の業務といたしまして、教育委員会を通して、各学校の校長先生や教頭先生、野球とバレーボールの顧問の先生に挨拶の機会をいただきたいと考えています。これから学校のヒアリングにはいっていく前の顔合わせをして懸念事項等のヒアリングを実施する予定です。
（会長）
　先ほども報告事項で挙がっていましたが、大会参加できる地域クラブの設置などもこれから考えていかないといけません。
（委員）
　野球部の顧問の先生が、野球の地域クラブの指導者になるときに、指導者資格が必要とありましたが、そういう補助や支援も事業者がやるのでしょうか。
（事業者）
　支援させてもらいたいと思っております。さらに、弊社が抱えている人材バンクに登録している指導者にはそのような資格をすでに持っている指導者もおります。
（委員）
　財源確保についてお聞きします。協賛や企業版ふるさと納税によって、市費の負担や受益者負担を減らすという説明でしたが、実際にそのような自治体の事例はあるのでしょうか。
（事業者）
　ございます。受益者負担が一部ありますが市費の負担はなく地域クラブが稼働している市の実績もあります。また、近隣の市町も市費の負担なく地域クラブが稼働しています。
（会長）
　学校現場としてはどう考えますか。

（委員）
　地域移行が始まって地域クラブが設置されても本当にこの地域クラブで大会に参加できるのかという点が不安です。
（委員）
　大会主催者である小中学校体育連盟がどのくらいスピーディーにこの地域移行のために考え方を合わせてくれるのか心配しています。また、チーム登録であったり、ユニフォームであったり、次から次へといろいろな課題があってあっという間に半年後のモデル事業がスタートしてしまうのではないか不安です。
（事務局）
　ユニフォームについては、市と事業者の事務局で地域クラブがスタートして最初の大会に間に合うように準備をしていきたいと考えています。また、種目ごとに同一のユニフォームにすることによって、チームの移籍や統廃合が起こっても家庭の経済負担が少ない形で提案していきたいと考えています。
（委員）
　他市町は部活動ごとに新人戦に出場するのに、印西市だけ地域クラブでの参加で印旛郡新人戦に出場できなくなるのは混乱があるのではないかと思います。そういう点も４月１３日の全体説明会である程度示していかないと生徒が地域クラブを選ぶのか既存のクラブを選ぶのかの判断材料を提示しないといけませんので喫緊の課題です。校長会では、合同チームが多いという課題から野球が地域移行しやすいと思いモデル事業に指定したつもりでしたが、大会参加の点でブレーキがかかっています。
（事務局）
　印西市では、昨年度から協議会の中で、だれでもどの種目のどのクラブでも登録し参加できる地域クラブの方針で考えて準備してきましたが、小中学校体育連盟の大会に参加できることにポイントを置くとするならば、所属できるクラブを指定して拠点型の地域クラブにするしかないという選択肢になります。各種目の専門部と情報交換しながら、地域クラブでも部活動と同等に大会参加できる状況を見極めていかないといけません。
　我孫子市では、小中学校体育連盟の大会参加にこだわらず野球で地域移行しています。部活動という概念にとらわれず、地域クラブで参加できる大会に参加していこうという考え方です。種目によっては小中学校体育連盟主催の大会に参加できる地域クラブもありますし、種目によっては協会主催の大会にしか出場できない地域クラブもあります。
（委員）
　みなさんは、小中学校体育連盟ありきの論理と感じています。将来、生涯スポーツの一貫としての地域移行と捉えるなら、今までの概念ではない形での大会運営も考えられます。
　例えば、アーシャルデザインが他市町の地域移行運営業者と連携しながら運営事業者主催の大会等を開催することはできますか。
（事業者）
　可能です。今後市をまたいで大会を設定することもできます。ただ、目的が勝利至上主義ではないので、そこの部分の線引きは必要だと思います。様々な価値観がある時代になっていますのでどのような意図の大会を開催するのかも考えていかなければなりません。
（委員）
　まだ小中学生では身体ができあがっていないので、ひとつのスポーツに取り組むより、総合型スポーツやマルチスポーツの視点も大切だと思います。いろいろな可能性を持たせる環境づくりも大切だと思います。
（委員）
　マルチスポーツという概念を初めて聞きました。
（事業者）
　マルチスポーツという視点は大切だと思っています。
（委員）

部活動地域移行は変革期になりますので、行政の担当者と事業者と学校現場がしっかり意思疎通を図ってスムーズにできるようにしてほしいと思います。
（会長）
欧米ではマルチスポーツという取組も見られますが、日本でこのマルチスポーツがどのくらい普及するのかは未知数です。かじって終わってしまうことも十分あり得ます。
（事業者）
マルチスポーツの導入はマストではありません。導入することができればおもしろい要素だと思っています。希望者を募って部分的にやってみることもモデル事業中の検証内容になるかもしれません。
（委員）
平日の部活動地域移行はどのようになっていくのでしょうか。それは目指すべき姿はどのようになっていくのでしょうか。
（事業者）
部活動地域移行については、本当に正しい答えがない状態です。部活動の文化が詰まったものなのか、新しい地域クラブの形なのかは、これから行政と協議しながらつくりあげていくものだと思っています。大切なのは生徒がどのような活動を希望しているのか、学校の先生がどのようなものを求めているかなど、現場の意見を最優先で考えていきたいと思っています。
（会長）
１２月に国での部活動地域移行から地域展開に変更し、当初の地域移行のイメージから学校を含めた地域へ展開していくという方針になりました。ただ一方で、もう部活動へ後戻りはできません。どこの行政の担当者に聞いても答えはないと回答しますので、慎重に動いていかないといけません。
（教育長）
事業者が決まり、次年度の９月からモデル事業が始まるところまでやってきましたが、国の方針もいろいろ変わり、県も間に挟まって、市町に明確な方針を示すことができていません。とにかく我々ができることは、印西市の子どもたちに不利益がないようにという視点をこれからもずっと持って考えていかないといけないということです。議会でも経済的・地理的な要件で格差が出ないようにする制度設計をしなければならないということには十分配慮しないといけないと考えています。印西市よりも先行事例を持っている自治体もありますので情報交換しながら進んでいくことが大切だと思っています。
（会長）
昨年度から慎重に丁寧に準備をしていくというのが印西市の方針でしたので、教職員の働き方改革の部分もありますが、子どもたちの不利益がないように最善を尽くしてやっていただきたいと思います。
続きまして、協議事項（２）次年度のスケジュールについて、事務局お願いします。
（事務局）
資料４～５頁をお開きください。令和７年度のスケジュール（案）をご覧ください。
次年度の９月よりいよいよモデル事業をスタートします。これから業者と協議しながら具体的に地域クラブの設置をしていきますが、スケジュールに沿って、学校側や指導員などと連絡を取りつつ、中学生の登録をアナウンスし準備万端で進められるようにしていきます。
具体的な部分の御意見をいただきたいと思います。
まず、次年度のこの協議会についてです。そこに示していますように基本３回の協議会を予定しております。第４回は予備としてとっており、必要に応じて開催します。ご承認いただけたら具体的な日程調整等をおこなっていきます。
３回の協議会でよろしいでしょうか。
次に、４月１３日（日）に開催します全体説明会についてです。
文科省（スポーツ庁・文化庁）が示す施策や県教委の方針などを説明するタイプの説明会で

はなく、印西市で地域クラブに所属するとこんな楽しいことがある、こんな魅力があるという説明会の実施を考えています。今回は全体説明会ということで対象を大きく広げます。もちろん、野球と女子バレーに所属する生徒・保護者が一番の対象ですが。内容としては、①行政側の責任者の市の方針説明②業者の事業説明③アスリートの講演④地域クラブの手続きについての予定でいます。詳細につきましては、アーシャルデザインと一緒に準備しております。申込みについては、forms の申込みをＱＲコードにしてチラシを作成します。また、リーフレットにもこの申込みフォームを記載し学校で掲示、保護者へのスクリレ配信、市のＨＰに公開いたします。インパクトある説明会になるように準備していきます。

（事業者）

まだ確定していないのですが、モデル事業にバレーボールの種目があることから、プロのバレーボール選手をお招きして講演していただこうと調整しています。このようなサプライズを用意しながら魅力ある地域移行を伝えていきたいです。

（会長）

次年度の協議会は事業者も参加していただく予定ですか。

（事務局）

もちろん報告が必要なものがあれば参加していただきます。

（会長）

近隣市はすでに地域展開というワードで進んでいますので、印西市でも今後協議会等で検討していく必要があると思います。全体説明会についてご意見があればお願いします。

（委員）

この全体説明会では、具体的な内容を示さないといけないと思います。今年度は新入生保護者会に市教委の担当者に来ていただいたけど具体的な説明はありませんでした。次年度は、新入生保護者会では具体的な話を１月頃までに済まさないと全体説明会が４月では遅いかもしれません。

（会長）

今年は新入生保護者会で説明したのですか。

（事務局）

ほぼ全部の中学校の新入生保護者会に参加し地域移行の進捗状況を説明しました。新年度では、大会参加要件や地域クラブの状況も詳細にお伝えできると思います。

（会長）

リーフレットを配付していますが、書面を読んでもなかなか理解できない部分については動画などを活用できると良いですね。

（委員）

地域クラブが始まったら、部活動はやらないのですか。そういう部分の質問が生徒や保護者からあった時に学校の先生が回答するのは難しいでしょうから、先生方の負担にならない方策はあった方が良いと思います。

（会長）

４月１３日の全体説明会では総論ではなく各論の部分も説明しないと具体的な部分が見えません。

（委員）

４月１３日ではまだ部活動に入部していませんから、もしかしたら野球とか女子バレーボールに決められない生徒もいるかもしれません。

（事務局）

逆に入部する前にこの情報を入れたいという意図がありました。部活動に所属する前に地域クラブという選択肢を示した上で、既存のクラブや地域クラブ、平日の部活動だけなどを生徒に選べる状況にしたかったです。

（指導課長）

担当の説明に付け加えます。モデル事業スタートになりますので、様々なことが想像でき

ます。想定している以上に生徒が集まらないということも考えられます。その場合には、状況によってはクラブ数や活動拠点について追加の説明会等も実施することも考えられます。
（委員）
　４月１３日に大会の予定が入っていて説明会に参加できない生徒もいると思います。予定がつかない方にはどのように説明するのですか。
（会長）
　オンラインの時代ですので、動画等アーカイブに残しておき、全体説明会に参加できない方にも見ることができる状況を整えてください。
　以上で、協議事項を終えて、事務局にお戻しします。

４　その他

（司会）
　次第４、その他で事務局から今後の事務局で取り組んでいくことをお伝えします。
（事務局）
　１年間協議会に参加していただきありがとうございました。いろいろご助言いただきここまでやってくることができました。しかし、地域クラブ化を進める中で様々な問題がまだまだ山積しております。資料６頁にも記載しましたが、地域クラブでの大会参加について、マルチスポーツの導入について、地域クラブのユニフォーム制作など、まだまだ考えるべきことは多々あります。自由に登録して活動できる方針の下、この２年間準備してきました。ただこの方針で立ち止まらないといけない課題があることも事実です。もともとの方針を少し変更しながらでも子どもたちの不利益がないようにというポイントは念頭に置き準備していきたいと思います。
　アーシャルデザインさんにサポートしていただきながら、関係機関と連携・調整しながら、その場その場で必要なことを解決して進めるよう事務局と業者で準備を進めて地域移行をスタートさせていただきたいと思います。
（司会）
　指導課でも２年間悩みながら準備してきました。いよいよ次年度印西市の地域移行が始まります。事業者と連携を図りながら印西市の特徴ある地域移行を進めさせていただきます。また、次年度以降もこの協議会の委員の皆様に相談させていただきながら進めていこうと思いますがよろしいでしょうか。
＜異議なし＞

５　閉会

（司会）
　以上で「第４回印西市部活動地域移行推進協議会」を閉会いたします。
　本日は、どうもありがとうございました。

令和６年度第４回印西市部活動地域移行推進協議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和７年３月２４日

委員　宇佐美　美奈

委員　三門　宜典